「だったん」
和歌山県環境ポータルサイト
イメージキャラクター

2026わかやまこどもエコチャレンジ
活動レポート

紀伊 小学校 5年 名前 酒井麻緒

※こちらに必ず記入願います。保護者の同意が得られた児童のレポートは、このままの状態でホームページに公開します。

私のエコチャレンジ

ダンボールコンポストに挑戦しよう!

ダンボールコンポストとは?
ダンボール箱とび生物などを使って家庭から出る生ごみ分解させ肥料を作るエコな生ごみ処理容器です。

ダンボールコンポストの良いところ!
① 生ごみの減量
② 通気性と水分調整
③ 低コスト
④ 臭いが少ない

用意するもの



- ダンボール箱
- スコップ
- ゴム手ぶくろ
- 米ぬか
- 菌の液体
- 生ごみ
- 家の畑の土
- ココピート(ヤシの実のからをくだいて作られたもの)
- ガムテープ

生ごみが肥料になったよ!!



① 家の庭の土をダンボールに半分くらい入れる。



② ココピートを土の3割くらい入れる。



保水性と排水性通気性のバランスが良くみかんのさいばいにも使われている。

③ 米ぬかを土の1割くらい入れる。



生ごみを分解する微生物のえさになる。

④ 菌の液体を入れる。



土のせん玉菌をふやしてはいかんきょうを作る。約250種類の微生菌が入っていて土のサプリメントと言われているよ。

⑤ 土・ココピート・米ぬか・菌の液体をしっかり混ぜる



混ざった状態



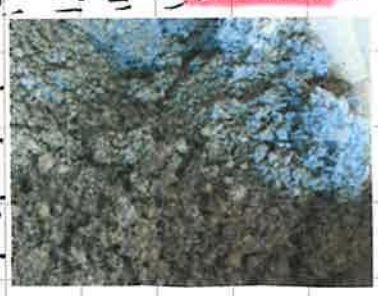
⑥ 手でにぎってだんごができるくらいの固さにする。





⑦ 1~2日で土の温度が上がり、菌が活発になる。
4~5日で白いカビが出てくる。

白いカビはび生物の働きが活発になり生ごみの分解が順調に進んでいるサインだよ。





そのまま放置しないでしっかりまぜる。

⑧ ダンボールに生ごみを入れて、混ぜる。





⑨ 生ごみが分解されて約2週間で完成!

バナナのかわやたまねぎのかわには分解に時間がかかりやすい。



生ごみは分解しやすいものと分解しにくいものがあると分かった。

※保護者の同意がある活動レポートから入賞作品を決定します。同意される場合は、下記( )にご署名ください。(署名がない場合は、審査対象外です。)

<個人情報の利用について>
応募者の氏名、学校名、学年を活動レポートの審査、ホームページ公開、メディアへの情報提供、展示会場での展示等に利用します。

上記の内容に同意します。保護者氏名([redacted]) ※保護者氏名は非公開です。